京城日報 朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社 京城日報社
昭和十八年二月十二日 （金曜日） 皇紀二千六百三年 （日刊）
（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可） 第一万二千六百八十號
京城日報 （市內版）

相澤、上林兩少尉に感狀
衢州城攻略に端緒
赫々の武勳上聞に達す

上林少尉

【東京電話】昨春中支に展開された浙贛作戰に參加、衢州城攻略に偉勳を樹てゝ散つた恒岡部隊附相澤誠、梁瀨部隊附上林道兩少尉に對してはさきに同方面軍司令官より感狀が授與されたが、その武勳はこのほど畏くも上聞に達し、この程十一日陸軍省より發表された

陸軍省發表（二月十一日）浙贛作戰において偉勳を樹てたる陸軍少尉相澤誠、同上林道に對しさきに軍司令官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀

恒岡部隊附陸軍少尉 相澤誠

右は昭和十七年六月六日衢州城攻略に方り、大南門第一突擊隊長を命ぜらるゝや猛火を冒し挺身先頭に立ち諸障害を突破して城壁に近迫し率先疾驅城壁上に攀登し勇戰奮鬪、遂に城壁の一角を占領せり、ときに敵の逆襲あり、少尉は敵手榴彈により受傷したるも敢て屈せず部下を督勵之を擊退し、さらに戰果擴張中頭部に敵彈を受け遂に城壁上に斃る

右は突擊小隊長たるの本領を發揮し克く衢州城攻略の端緒を開きたるものにして其の武功は拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年七月七日 軍司令官

感狀

梁瀨部隊附陸軍少尉 上林道

右は昭和十七年六月四日衢州城攻略に方り烏溪港の敵前渡河、最先頭小隊長として洶々たる激流と熾烈なる敵十字砲火とを押し極めて困難なる渡河を決行、まづ河岸に突出せる特火點に率先突入してこれを占領、さらに側方の敵を急襲してもつて該渡河成功の端緒を作爲せり、爾後引續き漆黑暗夜のもと豪雨氾濫の水田地帶を跋涉し果敢なる突擊を敢行して敵陣地の一角を奪取せしが遂に敵彈のため敵特火點上に壯烈なる戰死を遂ぐ

右の行動は終始一貫最も積極的にその任務に邁進せるものにしてその武功は拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年七月七日 軍司令官

吉田司令長官 漢口方面視察

【上海十一日同盟】支那方面艦隊報道部發表（二月十一日午前十一時）＝吉田支那方面艦隊司令長官はさる四日以來安慶、九江、漢口方面の麾下各部隊の巡視をなし昨十日歸滬せり

彈雨冒し突入 敵大特火點を占領
上林少尉戰鬪經過

【東京電話】河野兵團の主力たる梁瀨部隊の第一小隊長として衢州城攻略に參加した上林道少尉は六月四日烏溪港の敵前渡河にあたり機宜に適した處置を以て、率先困難な狀況下敵前渡河を決行、對岸に達着するや眼前に猛威を揮ふ敵特火點に決死の突入をなし敵陣の一角を奪取、兵團主力渡河成功の因を作爲した、かくて中隊が第一、第二兩小隊をもつて孫家北方附近およびその東側河岸に在る敵陣地に突入、これを奪取、さらに戰果を擴大すること〻なり、上林少尉の小隊は第一線となり惡地形にも拘らず熾烈な敵火を冒して前進、その主力をもつて南東北側陣地に突入、これを奪取、さらに中隊が魏家南側の陣地線を奪取して部隊主力の□□を容易ならしめんと企圖するに及び、上林少尉は敵火を冒して自ら狀況を偵察、夜襲を可とする旨中隊長に意見を具申するなど不眠不休の努力を傾注行動開始されるや漆黑の暗夜の下豪雨により氾濫した水田地帶に困難極まる突擊を敢行、一意敵陣地に肉薄、一部をもつて左方より迂回突入せしめ、自らは敢然小隊主力の最先頭に立ち大特火點の一角に突入、勇戰敢鬪遂にこれを奪取、引續き陣地の掃蕩を實行中、無念の敵彈は少尉の腹部に貫通壯烈なる戰死を遂げたのであるが、常に率先困難なる任務を遂行した少尉の行動は同地區における作戰成功の端緒を開いたものである

逆襲の敵を阻止 城壁上壯烈の戰死
相澤少尉戰鬪經過

【東京電話】衢州城攻擊に際し、瀨井兵團の左第一線たる恒岡部隊右第一線小隊長として參加した相澤少尉は、六月六日未明、將校斥候となり敵彈下大南門附近の敵情を偵察、爾後大隊を誘導し大南門南側に緊迫、突擊隊長を命ぜられるや、狀況に即した巧な突擊陣地を構築、工兵隊の突撃やうやく成るにおよんで、同日夕刻壯烈な突擊を敢行、熾烈なる敵彈の炸裂を潛り城壁にのぼり抵抗する敵を殲滅して城壁の一角を占領した、この時敵の逆襲に遭ひ相澤少尉は敵の手榴彈によつて手および脚部に負傷したが屈せずこれに屈することなく追及して北分隊を合せ指揮し敵の逆襲を阻止し、さらに戰果擴張中敵の一彈再び少尉の頭部に命中し遂に城壁上に壯烈なる戰死を遂げたのである、少尉のこの果敢なる行動はよく部下の勇猛心を振起し、爾後の戰果擴張を容易ならしめ遂に衢州城完全攻略の端緒を開いたのであつた

敵の遺屍二十六萬
十七年度 支那派遣軍綜合戰果

【南京十一日同盟】支那派遣軍報道部發表（二月十一日十七時三十五分）大東亞戰下昭和十七年度支那派遣軍綜合戰果の概要左の如し

交戰兵力 三、八六七、〇〇〇
遺棄死體 二六〇、八〇五
俘虜 一二四、四〇七
飛行機擊墜破 一〇九（中不確實一六）
鹵獲品 野戰砲二八、同彈藥七、一七九、重機五三五、同彈藥七五三、二〇六、輕機一、七七六、同彈藥五一三、五七一、迫擊砲八一〇、同彈藥四三、二〇七、小銃一二、六三五七、同彈藥一〇、九六三、〇一六、拳銃二二、二〇一、同彈藥一三九、二〇八、手榴彈七一二、六七四

我が軍損害 戰死八、四〇〇

重慶軍の戰意喪失
俘虜の數著しく增加

【南京十一日同盟】十一日支那派遣軍報道部より發表された十七年度支那戰線綜合戰果は、重慶軍の戰力低下を如實に示し、本年度の重慶戰力測定上有力な資料となるもので、その內容は極めて重視さるべきものである、すなはち十七年度における支那戰線主要作戰回數は約五十回、交戰回數約二千五百回で、十六年度の戰果と比較すると、交戰敵兵力は百卅四萬三千三百の減少を示し、遺棄死體は八萬四千減少してゐるが、俘虜は全數において二萬二百十名の增加となつてゐることは明かに重慶軍の戰意喪失を示すものでありまた鹵獲品においても野山砲、重機關銃、迫擊砲、小銃、拳銃、手榴彈などの如き精巧を要する兵器が減少しの如き比較的簡單なる兵器が著るしく增加してゐるのはわが軍によつて輸血路を中かれたゝめ援蔣兵器の補給が著るしく困難となり勢ひ國產の兵器に依存せざるを得ない事實を物語つてゐる、これに反しわが軍の損害は戰死者數が前年に比し激減してゐるのは、わが將兵の戰鬪方法が極めて上達したことを示し、意を強くするに足るとともに、敵抗戰意識の低下を反映するものと解される、さらに敵軍は一日平均交戰兵力一萬五百九十五に對し戰死七百十五、俘虜三百四十一の損害を蒙り、傷病兵を除いてもなほ毎日千五十六名づつの兵力を喪ひつゝあり、その一ケ年間における遺棄屍俘虜の總數は約四十三個師分に當り、ついで小銃が約五十三個師分、重機が約百八十五個師分、重機が約十一個師分にそれ〲相當し、重慶軍の苦惱のほどが偲ばれる、十七年度の綜合戰果を前年度に比較すれば次の通り

（減）交戰兵力一、三四三、三〇〇
（減）遺棄死體 八四、〇〇〇
（減）俘虜二〇、二一〇（增）鹵獲品、野山砲三九（減）同彈藥一、五〇〇（減）重機四三五（減）同彈藥一九、〇〇〇（減）輕機七八〇（減）迫擊砲二六〇八、八五八（增）手榴彈九四、〇〇〇（增）遺棄死體および俘虜の交戰兵力に對する比率十五年度八、二三％、十六年度八、六二％、十七年度九、九六％、野山砲一門に對する彈藥數十六年度三百卅四發、十七年度二百五十六發、迫擊砲一門に對する彈藥數十六年度百八發、十七年度五十一發、重機一挺に對する彈藥數十六年度七百九十六發、十七年度千四百八發、拳銃一挺に對する彈藥數十六年度五十七發、十七年度六、遺棄死體百に對する俘虜數十五年度一一、七、十六年度三〇、一十七年度四七、七

獨空軍活躍 チュニジャ戰線

【リスボン十日同盟】チュニジヤ戰線の戰況は九日惡天候のため全戰線にわたり變化なく僅かにカイルーアン南區ならびにガフサ東方で小競合ひが行はれたに過ぎない、ファイド南部の米軍はスペイトラからスプアックスに通ずる重要道路の線付近を企圖したが、獨空軍ならびに伊軍地上部隊の反擊にあつて目的を達せず西方へ潰走したと傳へられる、目下伊獨軍は頻りに大攻勢を準備してゐる模樣で獨軍筋の情報も反樞軸軍が各地區において砲兵部隊および空軍の增強をはかると共に、米軍がガフサならびにスペイトラ兩地點に兵力を集結してゐる事を認めてゐる、一方トリポリタニヤ西部で勇戰してゐるロメル軍後衞部隊は九日その作戰目的を達して後退した模樣で、カイロ電報はエジプトからリビヤまで潰走した英第八軍の先鋒部隊として活躍した英第七機甲師團主力がチュニジヤ國境へ到着、さらに西進してゐると報じてゐる、九日獨空軍の活躍は目覺しくチュニジヤ中部で五ケ所の敵砲兵陣地を沈默せしめ、さらに樞軸軍陣地上空を哨戒してゐた獨戰鬪機六機は五十機以上からなる敵空軍と遭遇、五十分間にわたり空中戰を演じ敵機十五機を擊墜したと傳へられる

……所に大火災が生じてゐるのが確認され、また赤軍砲兵陣地は獨軍の猛擊により瞬く間に沈默し、さらに獨軍砲兵隊の活躍を阻止するため飛來したソ聯空軍は獨軍高射砲隊ならびに戰鬪機隊によつて擊退された

七十二社會事業團體に
畏し・御內帑金下賜
小磯總督、謹話を發表

紀元節の佳日に當り、畏き邊りでは半島の私設社會事業團體たる財團法人和光教團ほか次の七十二團體に對して多額の御內帑金を下賜あらせらるる旨の御沙汰を拜し、小磯總督は十一日次の通り謹話を發表、聖旨に副ひ奉らんことを期した

小磯總督謹話

畏き邊りに於かせられましては社會事業御奬勵に特に大御心を用ひさせられ、每年紀元の佳節に當り全國の私設社會事業團體に對し御內帑金を下賜あらせられたのでありますが、今回亦本年の紀元節に當りまして、半島の私設社會事業團體たる財團法人和光教團外七十一團體に對して、多額の御內帑金を下賜あらせらるる旨の御沙汰を拜し、有難き思召に對し洵に恐懼感激に堪へない所であります

御下賜金は紀元節當日各團體の代表者を當廳道廳に招集して道知事より夫々傳達せしむることに致して居りますが、御下賜金を拜受致しました各團體におきましては天恩の鴻大なるに感激し、益々事業の進展に懸命の努力を傾はるゝものと信じます、總督府におきましても時局の重大なるに鑑み社會事業團體に對する指導獎勵に一層力を致すと共に、更に新規に對する講究を進めまして、國民生活の安全並に人的資源の涵養に資し以て聖旨に副ひ奉らんことを期する次第であります

【京畿】財團法人和光教團、財團法人京城佛教慈濟院、財團法人京城保育院、天主教會保育院、財團法人鎌倉保育園京城支部、救世團、厚生學院、財團法人京城教護會、仁川天主教會童保育院、財團法人東和隣保館、明進舍、財團法人保隣會、財團法人開城大成會、仁川佛教慈悲田院、立正學院、救世國惠泉園、京城北部隣保館、韓鎭達財團乳幼兒健康相談所、財團法人開城有隣館、京城培光學園、財團法人朝鮮社會事業協會、財團法人京城養老院、水原聖公會孤兒院、仁川教護會

【忠北】淸州博仁會、財團法人忠北有隣會

【忠南】財團法人大田自彊會、大田佛教慈濟會、鷄龍慈德院、財團法人公州惜業院

【全北】財團法人全州少年保育園、財團法人全州有終會、財團法人群山誠之會

【全南】麗水愛養園、全南共濟會、財團法人光州有隣會、求禮弘濟院、小鹿島更生園癩患者慰安會、財團法人木浦成美會、木浦共生園

【慶北】大邱愛樂園、慶北救濟會、財團法人大邱常成會、天主教修女院附設女子孤兒院、財團法人朝鮮扶植農園、財團法人金泉尙善會

【慶南】財團法人釜山共生園、財團法人釜山輔成會、財團法人大師醫院、鎭海立正慈敎園、財團法人晋州同陽會、財團法人馬山更生會

【黃海】財團法人海州濟美會、海州白世熟

【平南】平壤佛教慈濟會、財團法人平壤孤兒院、財團法人平壤有恒會、平壤養老院、平壤私立盲啞學校、財團法人平壤慈生院、財團法人平壤更生園

【平北】財團法人新義州自制會、財團法人大同孤兒院、宣川昌信養老院、義州天主教會養老院

【江原】財團法人春川同胞會

【咸南】財團法人咸興博仁會、財團法人元山陽報會

【咸北】淸津私設託兒保護院、同財團法人淸津濟成會、咸北保育園、羅南佛教慈濟會

天皇陛下御親祭
宮中の紀元節御儀

【東京電話】燦たる御稜威のもと皇軍の威武四海に振ふ大東亞戰爭下、こゝに再び迎へる紀元の佳節に當り、畏くも宮中におかせられては天皇陛下御親祭のもとに、紀元節祭の御儀をいとも嚴かに執り行はせられた

この日早朝より宮中三殿においては、三條掌典長以下奉仕して御祭儀を進めさせられた、高松宮殿下を初め奉り、御在京各皇族殿下にも御參列、東條首相をはじめ文武顯官ら參列、諸員も參着、出御を御待ち申上ぐるうち、畏くも天皇陛下には御束帶黃櫨染御袍の御姿も神々しく午前十時賢所に出御、內陣の御拜座に進ませられ、御玉串を御手に恭しく御拜禮、玉音いとも嚴かに御告文を奏せられた、ついで皇后陛下の御代拜を萬里小路女官が奉仕、皇太后陛下の御代拜を清閑寺事務官が奉仕し、各皇族殿下の御拜禮、參列諸員の拜禮あつて御儀を滯りなく終へさせられ、ひきつゞき皇靈殿、神殿にても御同樣御儀を執り行はせられた

かくて夕闇迫るころより御神樂の御儀が進められ、畏くも天皇陛下には午後五時再び皇靈殿に出御、御拜あらせられ、奉齋こむる神域をこめて夜もすがら御神樂はつゞく〲に奏せられて神慮を慰め奉つた、なほこの日畏き邊りにおかせられては、大和の橿原神宮に勅使として室町公藤掌典を參向奉幣せしめられたが、紀元の佳節を壽がせ給ふ御賀宴は昨年と御同樣あらせられず、午前九時から午後四時まで有資格者の參賀を差許された

友好及び文化的協力に關する日本國ブルガリヤ國間條約

大日本帝國及びブルガリヤ國は兩國間の友好關係を嚴粛なる文書により確認し、兩國の文化關係を緊密にし、相互の理解を深からしめむるの目的を以て……

第一條 兩國政府は兩國……茲に再確認す
第二條 兩國政府は兩國……め最も緊密なる協力を……
第三條 本條約は署名……

日・勃關係更に緊密化す
友好・文化條約締結
きのふ東京で調印さる

【東京電話】帝國とバルカンの盟邦ブルガリヤとの間に、かねて交涉中であつた日、ブルガリヤ友好文化條約はこのほど兩國の意見完全に一致をみたので十日の樞密院本會議で可決され、紀元の佳節を期して十一日午後四時外相官邸において谷外相、ベエフブルガリヤ公使によつて署名調印、即日效力を發生したので情報局から左の如く發表された

情報局發表【十一日午後五時】日本國政府及びブルガリヤ國政府は現に兩國間に存在する友好及び相互的信賴の關係を確認し、且一層これを鞏固ならしめんことを欲し、また一方兩國の文化關係を增進せしめ、これにより兩國民の相互的理解を深からしむるの目的を以て條約締結方につき今般意見の一致をみ、本十一日午後四時外務大臣官邸において谷外務大臣と在京ベエフ公使との間に友好及び文化的協力に關する日本國、ブルガリヤ國間條約の署名調印を了したり

本條約は兩國政府の一方が條約滿了の六ケ月前へまでこれを終了せしむるの意を他方に通告せざる限り暗默の更新により一年づつ延長せらるべし

條約締結の經緯

【東京電話】今回成立を見た日、ブルガリヤ友好文化協定は、帝國とバルカンの盟邦ブルガリヤとを結ぶ最初の條約であり、一昨年三月日敢然三國同盟に加入して以來經濟ともに樞軸陣營の重要なる一員として世界新秩序建設に協力し來つたブルガリヤと、帝國とを結ぶ強き紐帶としてその意義は極めて重大であるが、日、ブルガリヤ兩國間にはかねて永年にわたる友好相互信賴の關係が存在してゐたが、ブルガリヤにおいては昨年三月すでに日ブルガリヤ協會の設立を見、國內に四十餘箇の支部を有するにいたり、わが國においても去る一月卅日同樣日ブルガリヤ協會の盛大な創立を見るなどますます關係の緊密化を見てをり今回のこの協定は、これらの友好關係を確認しかつ一層鞏固ならしめたものである、日、ブルガリヤ間に初めて正式外交關係が樹立されたのは昭和十四年十二月であつたが、日、ブルガリヤ文化協定締結の議はすでに歴代公使縣谷駐箚氏在任中から兩國間に研究されてゐた問題で、實質的には幾多の文化交流がすでに行はれてゐたものであるが、昨年五月ベエフ公使の着任以來急速に具體化し今回調印の運びとなつたのである、帝國はさきに獨伊およびハンガリヤとの間に文化協定を締結し、また昨年十二月、日泰間にも文化協定が成立、今回の日、ブルガリヤ協定は帝國としては第五番目の文化協定で樞軸文化協力陣の强化に多大の貢献が期待される、なほ最近における日、ブルガリヤ間の國交上特記すべき事項左の如し

昭和十四年十二月四日帝國ソフィヤに公使館開設▲同十六年三月一日ブルガリヤ三國同盟加入▲同五月十三日ブルガリヤ滿洲國承認▲同七月一日ブルガリヤ南京政府承認▲同十二月十二日ブルガリヤ對米英宣戰▲昭和十七年三月一日ソフイヤに日ブルガリヤ協會創設▲昭和十八年一月卅日東京に日ブルガリヤ協會創設

外相官邸の祝賀宴

【東京電話】歐洲の盟邦ブルガリヤ國との友好ならびに文化關係を增進させる目的のため、新に締結された日、ブルガリヤ友好文化條約の調印式は十一日紀元の佳節をトして午後四時から麴町區三年町の外相官邸において谷外相、ベエフ駐日ブルガリヤ公使間に嚴肅に擧行された、ブルガリヤ側からベエフ公使ならびにエマヌイロフ書記官、キルコフ通譯官、日本側から谷外相、松本次官、上村政務局長、安東條約局長、與謝野政務四課長ら出席、官邸二階廣間において調印を終り、つゞいて階下食堂に設けられた祝賀宴に移つた、谷外相まづ起つて歐洲の天地に志を同じうするブルガリヤ國の健闘を讃へる趣旨の挨拶を行へば、ベエフ公使また日本の赫々たる戰果が祖國々民に多大の勇氣を與へつゝある旨を强調、日、ブルガリヤ兩國の永久不變を願ふ挨拶を行ひ、終つて兩國の渝らざる友情のため乾杯して目出度く式を閉ぢた

“來月半ば迄滯在”
田中總監元氣で入京

【東京電話】今議會出席のため東上中の田中政務總監一行は十一日午後三時二十五分東京驛着の列車で入京、關係者多數の出迎へを受けつつ直ちに牛込の私邸に入つたが、總監は病後とも思へぬ元氣さで車中往訪の記者につぎの如く語つた

顏色は案外によいのかね、實はもつと早く東上したかつたのだが、病氣を無理してはいけないとの意見に從つて見合せてゐたる程だし、議會も未だ中途といふところであるから全然遲すぎたとにはなるまい、十八年度の豫算は多年經驗ある水田財務局長が折衝の甲斐あつてうまく行つた、あれで申し分はない、議會のほかには特に具體的な要件といふものはない、電力の問題など豫算に關係あるものは係官が一應折衝を濟ましてをるわけだ、しかしまだ一押し二押し交涉せねばならぬ懸案も相當數あるので、議會が今月一杯で終るとしても來月の半ば位までは各省との打合せのために滯在しなくてはなるまい、食糧の問題も順調に進んでをると聞いてをるが、これも一つの要件だ、東上前の高等官に對する訓示か、あれは一寸型破りのやうに聞えるかも知れないが、決戰に臨む官吏の責務と、それに處する心構へを說いたものでみんな判つてくれたことと思ふ

獨の長距離砲
一齊に砲門開く
ドーバー海峽對岸猛擊

【ストックホルム十日同盟】ロンドン來電によればドーバー海峽對岸の獨軍長距離砲は十日正午頃突如一齊に砲門を開き、イングランド南岸に對し砲擊を加へた、砲擊は猛烈を極め、六門の巨砲の齊射が行はれることもあり、合計約百發の砲彈が飛來し、開戰以來最も激しい砲擊の一つであつたと傳へられる、一都市の如きは百貨店および料理店に砲彈が命中し晝食時のことゝて多數の死傷者を出したと報ぜられる、なほこの日ロンドンに空襲警報が發せられ、高射砲が火を吹いたが獨機は姿を現さず警報は間もなく解除されたといはれる

レ市猛砲擊

【ベルリン十日同盟】獨軍當局に達した報告によれば獨軍重砲兵部隊がレニングラードの軍事諸施設ならびに樞軸陣地に猛烈な砲擊を加へ多大の戰果をあげた旨九日言明した、砲擊の結果市內各所の火藥工場、倉庫、交通……

けふの兩院

貴族院 本會議なし

委員會 午前十時より石油專賣法案外一件、北海道鐵道所屬鐵道ほか十一鐵道買收ほか一件、公立學校職員年功加俸國庫補助改正ほか一件、農業保險ほか二件の各特別委員會に請願委員會、午後一時半より在滿日本人特別委員會（戰時刑事特別法案採決）決算委員會を開くほか、午前午後にわたり決算第一、二、三、四、五の各分科會を開く

衆議院 本會議午後一時開會、增稅關係十二件、公債發行關係十件を順次上程可決、次いで貴族院より送付された兵役法中改正法律案ほか三件、商工經濟會法案ほか二件、帝國農會ほか一件を逐次上程委員附託とする

委員會 午前十時より豫算各分科會を開き最終決定をなし、午後一時總會を開催、各主査の報告後討論に入り田村秀吉氏（德島）賛成演說を行つて可決、午前十時增稅、公債發行、午後一時日本證券、都制、農業團體、戰時特例、石油專賣の各委員會を開く

消息

◇伊勢田亨氏（鐵鋼統制會朝鮮支部長）同本部特設部次長に榮轉十一日「あかつき」で出發赴任
◇平井康氏（大東亞省領事）十一日夕、釜山着同夜發列車で北上

社說 半島學徒の再考を望む

一

戰時下の新學年を控へて、各種學校では目下入學銓衡の準備中であるが、半島における學徒の志向は、如何なる方面に動いてゐるか。いはゆる最高學府への登龍門ともいふべき京城帝大豫科では、既に入學志願者の受付を締切つたが、文科及び理科を通じて二百四十名の募集に對し二千九百九十四名の志願者があつたといへば、まさに十二人強で僅か一つの狹き門といふことが出來る。そして文科、理科ともに例年より三割の志願者を增してゐるといふから戰時即應の人物が要請されてゐる折柄、一應は慶賀すべき現象といはねばならぬ。

二

然し、仔細に調べて見ると、これ等三割の志願者增加にも拘らず、理科の志願者が文科の志願者よりも低い率を示してゐるといふことは、それをそのまゝ默過してよいであらうか。即ち今が如何なる時代であり、如何なる方面の人物を國家が要求してゐる時代であるかを考へる時、これは更に檢討を加へる必要があらうと考へられる。何となれば、戰時下に最も緊急に要求されるのは、文科系統出身の事務に携はるものよりも、むしろ理科系統出身の技術に携はるものでなければならぬ筈で、生產力增强に、建設面擴充に、その他あらゆる部面にその需要が平時に幾倍するかは言を俟たざるところだからである。

三

既にこのことは內地にはそのまゝに反映して、全國廿六の高等學校志願者に徵するも、全體で七萬六百七十二人の志願者あり、前年に比して約二割を增加してゐるに對し、理科志願者が二割強を激增してゐるといふのは、それだけ決戰下學徒の動向を率直端的に示したものといふべきである。然も半島における……それが逆比例の數字を示すところに、半島學徒として……せねばならぬ點があるのではないだらうか。由來實際……て理論に逃避する傾向……とが指摘されてゐた半……つては、確かに一つ……する示唆でなければ……

四

……ふに、半島における……學校以上の學校は、……內地におけるその種……とは、おのづから特殊……性格とを持つてゐなけ……ぬ筈である。即ち朝鮮……

……速かに實務に從事せしめ、國家の要望する部門に就かしめる以外にはないのであることに鑑みれば、學徒の容易に就かんとする志向の是正なもろん當然であり、更に進んでは半島に最も重要なる農業方面その他への關心を新たにし、文科系統の充實もさることながら理科方面の施設に一層の力を傾すことが急務であるともいひ得べく、斯くてこそ初めて半島の擔ふ日本に對する協力が、その實を備へるものであると信ずるものである。

鍛へた腕の見せ處
酷寒も顔負けの關東軍魂

【滿ソ國境〇〇にて關東軍報道隊員本社派遣特派員】遠く東ソの空を見るものもない荒寥たる此處興安……去來する雲と、足下の雪との外は嶺の高原の一角にある〇〇部隊に〇〇の部隊を零下三十度の嚴寒に訪れ、朗色に滿ちた將兵の姿に接して『完勝關東軍』の實相を此處に見るの感を深くした、渺々と續く丘陵台上、終日雪を捲く風が吹きつけるうちになんと將兵の顏の明るく朗かなことか

自分は毎日三助をやつてゐる兵ですが、朝七時半に焚きつけた風呂が午後の一時ごろになつてやつとぬる湯になる程度のひどい寒さです、しかし北滿の國境は寒いものと決つてるんですから驚くことはないですよ——と何の屈託もなく語る兵隊さんだが、この寒さを恐れない不屈な

……氣力は一朝一夕に養はれたものではない、それには將校が身を以て兵隊に對する知識を與へ、そして寒冷への恐怖心を拂拭させてゐる强烈な指導鍛錬があるのだ、〇〇隊の梅津某行軍曹中尉はその部下にもひどしい鍛錬の状況を次のやうに語つてくれた

零下三十度、風速五米の朝、兵隊さんを一列横隊に並べた隊長は傍らの水を滿した洗面器にずぶりと指を浸し風に吹き曝しながら徐ろに説明するのである、この水に濡らした指はだんだん痛みを感じる、然し痛いうちは大丈夫だ、こ

……

青史未曾有の大戰を戰ひつゝ皇國一億萬民が再び意義深く迎へた紀元の佳節、この日爽春の朝風に爽かに翻る萬朶の日章旗は神武創業の大理想を顯現して餘すところなく、海に陸に空に地球の半を掩うて驕敵米英を膺懲邁進する皇軍の勇姿は八紘爲宇の御稜威をひたぶるに實踐するものであり、建國祭を迎へて職場にあると銃後にあるとを問はず民一……

……率とも稱すべき勤勞章の初の授與式を京畿道廳、道廳に於て擧行したのをはじめ、棉作技術者、教育功績者、地方公共團體功勞者、社會教化功勞者、私設社會事業團體功勞者貯蓄功勞者優良防空監視隊、優良警防團、愛國班、孝子節婦、運動功績者など多數の表彰式を總督府京畿道廳、京城府、府民館の各所で擧行、國の表彰を受けた者もこれを讃……

皇室の彌榮を壽ぐ
全鮮擧げて奉祝一色

……の感謝は一しほ深かつたこの日半島では午前九時の國民奉祝の時間至ればサイレン吹鳴を合圖に齊しく在所より遙く宮城を遙拜、聖壽萬歳を强く祈念したのである、京城では朝鮮神宮において小磯總督、板垣軍司令官以下軍官民各代表參列して嚴肅を極めた紀元節祭を執り行つたほか各地にあつてはこの佳き日を記念して各種の表彰式を擧行、京城でも殉職戰士の企劃殿……

……ふる者も齊しくこの日を壽ぎ、建國の大業を想ひ遠く戰線にある幾多忠良の皇軍將士の勞苦に感謝し明日もまた決戰必勝の輝き信念を新たにしたのである、なほ京城府民館では同夜七時から京城府、毎日新報社、本社の共同主催で『紀元節奉祝の夕』を開催、城大教授尾高朝雄氏の『國家と民族』と題する講演その他文化映畫の上映あり、建國祭の意義を一層强く把握し明日の奉公を誓つたのである

嚴か朝鮮神宮の紀元節祭

大東亞戰下再び紀元の佳節を迎へ一億斉生皇國の彌榮を壽いだが、この日午前十時から半島の鎭め朝鮮神宮では嚴肅を極めた紀元節祭を執行した

軍服肅たる小磯總督、板垣軍司令官をはじめ總督府各局長、軍部將星、李王職長官、篠田城大總長、波田總力聯盟總長、高京畿道知事、古市京城府尹以下軍官民各代表二百餘名參列

淺春の朝しづけき南山の聖域に御宮宮司朗々と祝詞を奏し終つて小磯總督、板垣軍司令官以下各界代表玉串を恭しく捧げて萬代不動の皇國を壽ぎ更に明日への力强き奉公を誓ひ奉つた

寫眞＝朝鮮神宮參拜の小磯總督

本府の奉拜式

大東亞戰下感激一しほ深く迎へた紀元節に當り總督府では小磯總督以下各局課長、第一次所屬官署の長等第一會議室に參集、午前十一時廿分から高等官以上、同十一時卅分から判任官の順で嚴肅なる御眞影奉拜式を擧行、終つて大ホールにおいて祝賀式を催し一同冷酒を酌み小磯總督の發聲で萬歳を奉唱、皇國の彌榮を祈念した、なほ本年も外國人の祝賀を取止めた

橿原神宮例祭
嚴肅に執行

【橿原電話】皇國の聖地橿原神宮では十一日午前九時から高階宮司以下神官奉仕して新しき待ひを捧げ奉る例祭を嚴かに執行、同十一時過ぎ終了したが必勝祈願をこめる參拜者の群は終日境内を埋めた

榮譽輝く三警察官
丹下警務局長から功勞章を授與

警察官最高の榮譽たる警察官功勞記章が紀元の佳節をトし京畿道警察部岡村覺義（京城鍾路署勤務）成鏡北道警察部警部補田富一（城津署勤務）同巡査部長安永智（城津署勤務）の三警察官に附與され、岡村警部に對しては十一日午後二時から京畿道廳で高知事より他の二氏に對しては咸北道廳においてそれぞれ功勞記章附與式が擧行されたが三氏共に思想事件の檢擧に際し拔群の功……局長は……大東亞……る警察……民衆に……諾した

警務局長談

決戰の佳節をトし重大なる思想事件の檢擧に際り功績拔群なりし鍾路……獲得に努めつゝあつたものであり、まして萬一今回の檢擧を見ずして推移せんかその齎す結果は蓋し重大なるものがあつたのである

思想事件は關係者の活動極めて潜行的で、本件の如きも苦心探査の結果、漸く端緒を獲得しこれが究明を遂げたのであつて、或は犯人の兇器により重傷を負つたが敢然格鬪の上遂にこれを逮捕せる等……

"新生昭南"へ再入城の記 上

【昭南十一日同盟】一年前の十五日、山下奉文中將の率ゐるわがマレー作戰軍の精鋭は、敵將パーシバル以下十萬の英軍を軍門に降し英國が百年不落を呼號したシンガポールへ堂々入城し、日本と世界の歴史における新しい章節の第一句を起したのであつた、硝煙に洗はれた激戰の跡に建設の槌音が響いて十二ケ月、新生昭南は今こゝに日本の南方首都として凄じい成長力を世界に誇示しつゝある、一年前の今日、草に臥し、傷つく友を抱へて鬪ふシンガポールへ入城した記者はけふ再び機會を得て同じ昭南の地に足を踏み入れた、以下新生昭南への『再入城記』である

朗色漲る顏・顏・顏
偲ぶ激戰渡過記念碑

マライ半島を縱斷して陸路南へ入らうとする者が一樣に意外とするところは昭南島が實に『忽然として』出現する一事だ、半島縱斷幹線道路を自動車で南下する人は車がジョホール州に入ると、道はゴム林の中を右に曲り左に折れ或は山の上を或は谷を數十粁、いゝ加減……

……プル島の明るい海岸道に突き出される、眼前の穩やかな碧の海面が最早ジョホール水道なのだ、そしてとうんざりする頃ふと自分の汽車が停つてゐる停車場の標示板に『ジョホール・バル』と書い……

方向も海拔

……も見當がつかなくなつた頃、いきなり椰子林とパイナツ……て一キロばかり先に蒼緑色に浮ぶ島とも半島ともつかね陸地、これが昭南島なのだ

鐵道に身を託した者は、長い縱斷鐵道の旅行に倦き、時間表を調べて昭南は未だ後一時間か……

寫眞で見覺

……てあるのでビツクリする、そして窓から首を出して機關車の先の方を眺めると、確かに、そこには……えのあるコーズウエー……

……が見え、その先に昭南島が見えるのだ、ジョホール・バル驛から昭南驛まで、つまり昭南島の……

縱斷には汽車で一時間かゝる、最短路を自動車で飛ばして三十分……昭南は未知の人が漠然と想像してゐるより遙かに大きな島である

われわれは自動車路を採る、ジョホール水道 海岸道の左側の丘には瀟洒な洋風住宅が並ぶ、小粹な避暑地の海岸でも走つてゐるやうな錯覺に浸ること數分、對岸の昭南島の距離が俄に狹まり、島の姿が何とはなしに一瞬ありげな相貌を呈するところ、道路右側の緑に數本の椰子で圍まれた石碑が屹立する、血の……

渡河記念碑

……だ、山下將軍の雄渾な筆跡が花崗岩に刻みこまれて、四……

……瀬の白砂と共に烈しい南の白日を反射する、對岸右方に望む小島の陰から正面一際の海域こそ、わが上陸部隊の中央兵團が、鐵彈と火で印された一杆の歷史を血と肉で……

同じ死闘の

必死の艱難

寫眞＝ジョホール水道渡過點＝陸軍省許可濟

佳き日感激の獻金

殖銀から五十萬圓

……陸、海軍へそれぞれ廿五萬圓宛計五十萬圓を獻金することゝなり、十一日午前十一時林繁藏頭取が朝……に對し獻金手續きをとつた

佳節に假釋放

本社共催 奉祝の夕盛況

本社 鍊成隊結成式
きのふ培材中で擧行

本社の祝賀式

獻金部隊武官府へ殺到

京城消防隊の表彰

宇佐美氏追悼會

唸る調帶、散る火花
纖手、鋼を削る
油に染んで戰ふ乙女

女子機械工 補導所訪問記

旋盤の片側のキャップには直徑五センチ長さ十センチばかり、なかが空つぽの恰度竹輪のやうな形をした鐵棒が嵌め込まれてゐる、片方の刃物台には尖鋭なバイト（バイトとは金屬を削るノミのやうな刃物）がしつらへられ、それが刻々動いて行つて鐵棒のなかをぐりぐりと抉つてゐる、そしてその動きを年若い女の四つの眼がまばたきもせずじつと見守つてゐる、油じみてはゐるが、生娘らしい肌目細かい手が鐵棒へ殆急に油を注ぎ、はづみ木を廻してゐる、紺色の作業衣もみづみづしい年若い二人の女がいましも機械といふ機械に絶對不可缺の雌ネヂを作つてゐるのだ……

こゝは、東京市神田區の女子機械工補導所、大教室のやうな廣さの部屋には、所狹いまでに旋盤がどうしりと腕を揃へ、ベルトが

【輕快】な音を立て、七馬力半のモーターが唸つてゐる、旋盤といふ旋盤には、二人あての女が對ひ合つてゐて、作業に餘念のない姿だ、どこやらで石ヤスリでバイトをといでゐるらしくシャーシャーといふ音とゝもに火花も散つてゐる、ふとみるとこれも二人の女が鑢で鐵棒をゴシゴシ引いてゐる、すべて女の手でこんなことがと目を疑はずにはゐられぬやうな風景である、記者は生産增强に協力しようと逞しく起ち上つた女性たちの颯爽たる姿を具體的に把握すべく一日こゝを訪問したのである

一たい生産戰士の不足から女子にも出來る範圍の軍需工業部面に携はつて戴かねばといふのが事變の進展に伴ふ時局の要請であり、それに呼應する女性も多々現はれたが、工場へはいるには、まづその前に旋盤工なら旋盤工としての技術、精神を一通り體得して置かなければ目的は半ばも達せられない——かういふ必要性に基づいて昭和十四年にこの補導所は生れたのであるが、それ以來、毎年三回宛（毎回三ケ月づつ）の補導が行はれ、すでに千名近くもの若き女性生産戰士が巣立つてゐる

……◇……◇……

【病父】に代り旋盤工志願の女もある、指導員氏の話によると、いま補導を受けてゐる生徒は旋盤二十名、仕上工十名の計卅名、出身は大ていお父さんがかういふ仕事に携はつてゐるとか、さうでなければそれに多分の理解をもつ家庭の娘さんたちで、教育程度別にみると、國民學校初等科卒が四名、同高等科卒が七名、實科女學校卒四名、現在夜間の實科女學校へ通つてゐる人が八名、女學校中退者が一名、女學校卒が一名となつてゐる、このうち女學校卒といふのは今年廿二歳の本田圭子孃である、本田さんは東京の郊外で旋盤業を個人經營してゐる人の娘さんである、別に機械いぢりが好きといふわけではなかつたが肝腎のお父さんがこの一年ばかり前から中風で病んでゐて家業も覺束ないし、さりとて兄弟もゐないところからおや私が代りに旋盤業を繼がう、そして生産增强に協力しようと雄々しくも起ち上り、昨年十一月十八日に入所し、それ以來一心不亂に

【腕を】磨いてゐるのだしかも、補導所が退けると夜は裁縫を習ひに通つてゐるほどの嗜みの豐かな人である、だがかうした氣魄や情操の持主はただ本田さんばかりではない、すべての補導生が持つてゐるのだ、いづれもだが九州の一寸した機械屋の娘さんで父はすでに亡く兄弟はすべて出征してゐるので自分が[illegible]ようとはるばる上京した健氣な娘さんもあつた、[illegible]には女子大出のインテリ女性が同じ工場[illegible]にしても事務だとか檢閲だとかは第二次的なもので、第一次的なものは何といつても機械工である、この機械工になつてこそ本當の意義があるとの觀念に基づいて入所した人もあつた、さう云へば女流作家で一週間ばかり入所した人、また今入所を申込んでゐる人もある

……◇……◇……

それだけにわれわれ指導員も大きな抱負をもつて養成に當つてゐる、一人でも餘計に優秀な女子機械工を養成しようと

【念願】してゐる、規律もなかなか厳格で朝八時（夏季は七時半）から午後四時半まで軍隊に準じてゐる、この方法で鍛へ込んでゐる、僅か三ケ月の期間であるから時間は不足するがそれでも旋盤作業を一通りつぎ込むのである

現代は勤勞即ち生活の手段といふ時代である勤勞が生活の手段といふ時代は過ぎた、女性もすべて働かねばならぬ、むろんそのために女性が女性らしさを失ふことは

【禁物】であらう、だから勤勞の反面、情操教育は大いに必要であつて、この意味からのこの補導所でも毎朝女性として絶對に必要な文化教養講座を開いてゐるのだ

記者を机の前に坐らせてかう語る指導員氏の言葉は斬鐵そのものであつた、旋盤は倦みなき運動を續けてゐる、うら若き女たちの可憐な顏は希望に充ち滿ちてゐる

……◇……◇……

旋盤と取組むうら若き補導生

闘ふ銃後ドイツの姿
どこの職場も女、女
闇取引は殆んど見られない

東歐に北阿にドイツ軍は、いま、反樞軸殲滅に血みどろな闘ひを續けてゐるが、この前線に負けず劣らず銃後のドイツ國民もあらゆる不自由を忍んで明日の輝かしい勝利のために逞しい生活決戰を續けてゐる、では『戰ふ銃後ドイツ』の相貌はどういふ風か—極く最近の歸朝者遞信省航空局國際課長山本孝氏に聽かう

最近のドイツの街々に一きは目立つてゐるのは若い男の少くなつたことゝあらゆる職場への女性の進出が物凄いことだ

【廣い戰線】は潤山の兵員を必要とするから若い人たちはどしどし戰線へ出かけるのだ、銃後の街々には日本のやうに若い男が床屋で人の頭を刈つてゐるやうな風景は殆どみられない、殘つてゐる若い人といへば軍服やナチスの制服をつけた人たちばかりだ、そして女でも働けるところへはどしどし女が進出して行く、軍需工場では昨今機械と取組んでゐる女が非常に殖えた、一般會社の事務も郵便局の事務も殆ど女、列車の車掌も女、新聞通信社の記者にも女の數が殖えた、また料理店などでは若い人に代つてお爺さんが昔とつた杵柄をきかしてゐる

【食糧は殆】ど完全に近い切符制が實施されてゐる、パンもバターもチーズも肉類もすべて切符で買ひである、道を歩いてゐてパンが買ひたいと思へばレストランへ行つても切符、自分の持つてゐる一枚一枚切れるやうになつた切符を切りとつて小賣商へ飛込めばよく、切符がなければ絶對に賣らない、その代り闇取引は皆無に近い、食糧の量は戰前よりいくらか少くなつてはゐるが、戰爭勃發當初から計畫的生産配給が行はれてゐるだけに戰爭は續いてもあまり制限はされない、今後も現狀は維持して行けるだらう、衣料も日本と殆ど同樣の切符であるが、これとて計畫がよかつたことゝドイツの婦人が

【傳統的に】質素なので切符もかなり殘してゐるやうだ、質素といへば普通のドイツ婦人は白粉も口紅も殆どつけない、つけてゐるのは特殊の女くらゐに思はれてゐる、これは何も戰爭になつてからのことではない、それにしても戰時下ドイツ婦人のかういふ質實性は一つの强味であらう、交通機關も日本のやうに混雜しない、汽車は相當混雜してゐるが、市電、バスなどは交通機關が人口の割に發達してゐるといふ關係もあつて押し合ひへし合ひをするといふ風なことは絶對にみられない、國民に慰安を與へるといふ意味の劇場やビヤホールは相變らず賑はつてゐる

日本式の"海の教育"
インドネシヤ船員養成所開く

○○部隊現地船員養成所の開所式が一日ゲッペル・ロードで○○部隊長以下多數關係者列席のもとに行はれた、開講以來正規の船員訓練を受けるのが最初だといふインドネシヤの十六歳から三十六歳までの現地人船員の卵が二百名、白の鉢卷にカーキー制服を着けハリキツて整列した、去る十五日以來軍隊教練を受けたのだがこんなにも人間を變へるものかと驚く程立派だ、頭も坊主になり、料理も日本料理を食べ猛烈な合宿訓練の賜である、國旗掲揚、隊長の訓示の後堂々分列式を受けた、これから四ケ月起床から就寢まで全課程を日本船員式に教育され修了の曉には甲板、機關等で一人前の船乗りとして船出をするのだ【寫眞＝（上）マスト登攀（下）行進】

ラヂオ 12日

朝 七・〇〇 1『勤勞の本義』大日本産業報國會企畫局長 三輪壽壯 2 愛國詩（録音）▲九・〇〇『中等學校卒業生の父兄方へ』京城第一高女校長 梶原梅次郎 ▲九・三〇古着更生の手引（鮮語）大島貞夜 ▲一〇・〇〇『キンシクンショウ』吉田誠一郎 ▲一一・〇〇五年生の時間—お話『たゝかふ少國民』原勝

晝 〇・三〇管絃樂行進曲『黒潮』他 五田美邇樂團 ▲一・〇〇朗讀—中江藤樹の『翁問答』より ▲二・〇〇高等科の時間—職業指導講座『少年産業戰士の體驗談』小笠原一雄ほか ▲二・三〇朗讀『曉の進軍』（鮮語）登川清 ▲四・〇〇教師の時間『敬神』（下）總督府祭務官 鈴木重道 ▲四・三〇兵役讀本

夜 六・〇〇 1 シンブン、2『輝く勳章』福島佐松 ▲六・三〇『戶籍の整備について』早田福藏 ▲七・三〇『神意に…へるアジヤ十億の民』總務部長 間牛凡夫 ▲七・五〇滿洲だより ▲八・〇〇 1 浪花節『ビルマ旅情』梅中軒鶯童、2 農家の皆さんへ ▲九・〇〇（鮮語）1 京畿歌謠、2 羅走野談『麗聖列傳』（一）吳祥根 ▲九・四〇初歩國語講座

大いなる祭【65】
中野實（作）　一芳悌吉（繪）

河南地區（十）

『姉さん』

と、金井は拳銃を握りしめたまま、二三歩迫つて、

『最後にもう一度だけいひます。あなたはどうしてもお父さんを安心させてあげてくれないのですね』

『おまへは』

と、白瀾は後退りしながら、

『どうしても……』

『おまへは、私を殺つといふのか』

『殺つ……。殺つ。——』

『殺つなら殺つてごらん。さ、殺つなら』

といひながら、白瀾は壓されると見せかけ、長椅子のそばへ近づくと、素早くクッションの下から後手で小型の拳銃をとり出して、金井に擬した。

『さ、お殺ち。殺つたら、お前の生命もないのだよ』

金井はその場へ棒立ちになつた。引金を引かうと思へば引けたのである。油斷だつた。姉弟が殺ち合はなければならないなんといふことだらう。金井は目がくらみさうになつた。

卑怯者。

俺は父の怒りを聞いたやうに思つた。

最早これまでだ。私情にとらはれてゐる場合ではない。よし！

その途端。

白瀾のピストルが火を吹いて、凄じい銃聲が耳を劈いた。が、彼は無意識的にか、意識的にか、金井の胸をはづれて女の放つた彈丸は、鏡台の上のスタンドに命中した。

たちまち、部屋はまつ暗になつた。

が、次の瞬間、金井は右手に痺れるやうな痛さをおぼえ、思はず握つてゐた拳銃を床に落した。

それから、十分とたゝない同じ部屋で、

『白瀾さん。どうも危いところでしたね』

『有難う』

『どうも電信の音がしないもんですから、二階へ上つてくると、扉の鍵はかゝつてゐませう。それに中から男の聲がする。あなたしか入つてゐないこの部屋で、こいつはをかしいと思つて、あつちの窓から覗いて見ると、見たことのねえ男がゐるんでびつくりしましたよ。はゝゝゝ』

『それで、仁鎭——いえ、あの男はどうしたの』

『片づけましたよ』

『え』

『と、云つたら、びつくりなさらうが、白瀾さん、縛つて倉庫へほり込んどきましたから、御安心下さい』

『安心つて……』

『白瀾さん、なにもこの張に隱すことはありませんよ』

『おやあ、あんたは……』

『みんな聞いてゐましたよ。日本の特務班とあつては、生かしちやあおけませんが、ほかならぬ白瀾さんの弟なら、さう杓子定規に消してしまふわけにも行かないぢやありませんか』

『あんな弟なんか死んでしまつたつていゝのよ』

『さうは云つてもね』

『いゝえ、あたしは……』

『まあ、まあ。それはそれとしておいて、白瀾さん、あなたの弟さんは、いゝものをこの張三傑にお土産に持つて來てくれたんですよ』

さう云つて、張三傑は、金井の衣嚢から拔いたらしい皺くちやの紙片を出した。

新刊紹介

▲思想戰（櫻尾松治著）大東亞戰爭が思想戰の側面をもつことから筆を起して大東亞各地にあげられた大戰果のうちに咲いた日本精神の精華のかずかずを披瀝し敵米英の惡辣、虚僞に滿ちた事實を摘發し最後に敵米英巨頭の性格を明確に記述して斷々乎として勝ち拔くべき信念と烈々たる闘志を喚起せしめる書（一圓六〇錢・東京・神田錦町一ノ十七、六藝社）▲朝鮮土木建築業協會報（二月號）▲朝鮮實業（二月號）▲文那語と時文（二月號）▲朝鮮工業組合（二月號）